

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6	身体拘束について一玄関は「不法侵入者防止」の為、インターホンで開閉を行っている。入居者が病院入院中に衣服のつなぎを勧めて着て戻られ、家族の同意を得て夜間のみつなぎを着ている利用者が1名いる。	高齢者の尊厳と自由、理念である「ゆっくり」「その人らしさ」を考え、原点にかえり、身体拘束を行わない	・利用者の夜間の排泄状況を把握し、トイレでの誘導を行う。夜間の紙オムツの使用方法について検討する。夜間の巡視を頻回に行う。医療との連携を図り、排泄状況について報告し、指示を受ける	6ヶ月
2	10	家族や親戚等の面会も多くあり、来やすい雰囲気環境作りは行っているが、家族の意向や要望が本当に聞き出せているのか、疑問が残る	家族の「思い」はどのようなものか、利用者に対する思いや意向を介護者は届けられているのかを再確認する	・引き続き、面会の際に会話の機会を持つ(お茶や時に昼食で会食し、評価を求める) ・家族会、委員会等の参加を呼びかけ、話し合いの機会を多くする ・引き続き、遠方の家族には電話連絡や手紙をだし、利用者の状況報告や近況を尋ねる	12ヶ月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。